

### 当期の業績

日本経済は、海外経済の回復や緊急経済対策の効果などを背景に企業収益の改善が見られ、設備投資が下げ止まりつつあるものの、雇用情勢は依然として厳しく、また海外景気の下振れやデフレによる景気下押し懸念から、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような経済環境の中、セコムは「社会システム産業」の構築をめざし、セキュリティサービス事業を中心に、防災サービス事業、メディカルサービス事業、保険サービス事業、地理情報サービス事業、不動産開発・販売事業および情報通信・その他のサービス事業で、お客様のニーズに合致した質の高いサービス・商品を提供することに努めました。

当期の純売上高および営業収入は、メディカルサービス事業、保険サービス事業、地理情報サービス事業が伸長する一方で、中核のセキュリティサービス事業において安全商品の売上が減少したことや海外子会社が現地通貨ベースでは増収ながら為替換算レート変動の影響から減収になったこと、不動産開発・販売事業ではマンション市況低迷の中で収益性を勘案しながら慎重に良質物件の分譲に徹したことなどから、前期比134億円(2.0%)減少の6,706億円となりました。営業利益は、保険サービス事業における投資有価証券評価損の減少や、不動産開発・販売事業における販売用不動産評価損の減少などから、前期比209億円(27.4%)増加の972億円となりました。当社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価損の減少などから、前期比164億円(53.8%)増加の470億円となりました。

### 当期の配当金

配当金は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置付け、連結業績の動向を総合的に判断して連結配当性向の水準を決定し、安定的かつ継続的に利益配分を行うという方針のもと、2010年6月25日の定時株主総会において、1株当たり配当金を前期と同額の85円にすることを提案し、承認されました。

### 新体制について

当社は、2009年11月16日開催の取締役会において、代表取締役の異動を決議しました。この決議に伴い、2010年1月1日をもって、原口兼正が取締役副会長に、前田修司が代表取締役社長にそれぞれ就任しました。

### 市場機会の創出

セキュリティサービスは、時代とともに変化しています。社会動向、犯罪動向、新技術、社会インフラなど、社会のさまざまな要素の変化によって、お客様が求める「安全・安心」は常に変化しており、セキュリティサービス市場も変化し続けながら拡大していくと認識しています。

例えば、家庭向けオンライン・セキュリティサービスは、顧客層のすそ野が着実に拡大しています。一方で、「セコム・ホームセキュリティ」に加えて、ご自宅の庭などの敷地をセコムが監視カメラで監視するサービスや、簡単に破ることができない防犯合わせガラスを導入するなど、お客様によって求める「安全・安心」が異なっています。今後、さらに高齢化が進展することで、高齢者の夫婦や一人暮らしの高齢者が増えるなど、家族構成やライフスタイルにより、セキュリティニーズがさらに変化し、より幅広く柔軟なセキュリティサービスの提供が必要になると思われます。

セコムは、このように変化を続けるセキュリティニーズに先んじたサービスを提供できると考えています。なぜなら、セコムにはそれを可能にするサービス提供体制や経営資源、そして企業文化があるからです。

セコムの主力サービスであるオンライン・セキュリティサービスは、その研究・開発から、機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対応、メンテナンスに至るまで、一貫してセコムで行う体制を整えています。この一貫したサービス提供体制により、日々の営業活動やサービスの提供を通じて得たご契約先や見込先のご要望が、即座に研究・開発部門に伝えられます。

研究・開発部門では、そのような情報を、新たなセキュリティシステムの開発に役立てるとともに、既存のセキュリティシステムを継続的に改善していくなど、お客様の期待に応えるように日々努力を続けています。また、社会動向を総合的に調査・分析する専門部署を設置しており、社会の変化にきめ細かく気を配り、その変化がどのような需要の変化につながるのかを、常に検証・研究しています。そして、その結果を研究・開発部門に伝えるとともに、議論を重ね、新たなシステム・商品の開発や、新しい研究テーマの設定などにつなげています。また、研究・開発部門では、新技術の動向を常に把握するとともに、独自の技術の開発に力を入れています。このように、営業、業務、研究・開発などの各部門が緊密に連携できるのは、セコムならではの「一貫したサービス提供体制」があるからです。

一方、お客様は、24時間絶え間なく高品質なセキュリティサービスが提供されることで、初めて確かな「安全・安心」が得られます。セコムのセキュリティシステムには、さまざまな気象条件や設置環境のもとで、確実に異常をとらえるために、高度な信頼性が求められます。そのため、セコムでは、独自の厳しい開発基準を設けて、機器の信頼性を確保しています。また、各部門からさまざまな情報を収集して、日々改善に取り組み、信頼性の高いサービスを提供しています。

さらに、セコムは、セキュリティサービスを中心に、防災サービス、メディカルサービス、保険サービス、地理情報サービス、不動産開発・販売、情報通信・その他のサービスといったさまざまな分野でサービスを提供しています。セコムでは、このようなグループの総合力を生かした、ほかでは実現できない「安全・安心」なサービスを提供することができます。

このような一貫したサービス提供体制を有効に機能させ、グループの総合力を生かした、先進的で信頼性の高いサービスの提供を支えているのが、社員一人ひとりの活動です。セコムには、現状に満足することなく常に最適・最高を追求し、前進・進歩に対する意欲と信念を持ち続ける「現状打破の精神」や、社会にとって正しいか公正であるかを判断基準にする「正しさの追求」といった、創業以来の「セコムの理念」が息づいています。社員一人ひとりが「セコムの理念」に基づき、それぞれの業務に責任と誇りを持って取り組んでいるため、セコムには先進性と信頼性を重んじる企業文化が醸成されています。

セコムは、先進性と信頼性を重視することで、「だれにも追いつかれない」「まねができない」「セコムにしかできない」サービス・商品の提供を続けていきます。セコムはこれまでも、常に社会動向・犯罪動向を把握しながら、多岐にわたる基盤技術と蓄積した運用ノウハウを生かし、より「安全・安心」なサービス・商品を創造することで、時代の要求に応じてきました。そして、これからも社会の動きを先取りした、お客様に信頼される新サービス・商品を発売し、営業活動を活性化させることで、業容の拡大をめざします。

#### 成長するグローバル市場の展開を強化

海外セキュリティサービス市場では、経済成長に伴いセキュリティニーズが高まっているアジアを中心に、積極的に事業を拡大しています。セコムの海外セキュリティサービス事業の特長は、日本で培ったノウハウを生かして、「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスを各国の状況に合わせてカスタマイズし提供していることです。

欧米のセキュリティサービスは、セキュリティ会社がセキュリティ機器を販売し、オンラインで監視センターと結ばれてはいるものの緊急対処は行わず、異常が発生した場合は警察などに通報するのが一般的です。

一方、「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスは、セキュリティ機器をお客様の建物に取り付け、それをセコムのコントロールセンターと結んで24時間365日監視を行い、異常発生時には緊急対処を行います。セコムは、既存のご契約先からの信頼を強固にししながら、「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスの普及に努めています。

特に、経済成長が著しい中国では、沿海部を中心にサービス拠点を拡充し、「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスの普及に取り組んでいます。今後は、内陸部へとサービス拠点を拡大し、「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスの提供地域を拡大していきます。

また、上海に設置した研究開発センターでは、セキュリティサービスの提供に大きな影響を及ぼす中国の法令改正に関する情報収集を行っています。また、新たな市場開拓として、中国市場に合わせた家庭向けオンライン・セキュリティサービスを提供できるように準備を進めています。

## 新たな成長軌道に向けて

セコムは、セキュリティサービスをはじめとするさまざまなサービスを複合的・融合的に提供することで、より「安全・安心」で、便利で快適な社会を実現する「社会システム産業」の構築をめざしています。その目標を達成するために、セコムは各事業のサービス・商品を個別に提供するだけでなく相互に連携させることで、社会にとって欠くことのできないサービスやシステムを社会の“サービス・インフラ”として創造し、お客様に提供する中で、発展してきました。これからもセコムは、「社会システム産業」の実現に向けて、社会の変化やお客様の声から「安全・安心」ニーズを的確に把握し、信頼されるサービス・商品をどこよりも早く開発・提供し、成長していきます。そのためには、技術力が重要な役割を果たすと考えています。

2010年4月には、初めての技術展「セコム・テクニカルフェア」を開催し、3日間で約4,000名のお客様が訪れました。この技術展では、セコム独自のセキュリティ技術を核とした研究・開発部門が考える近未来のセキュリティシステムをご紹介することで、これからのセコムのあるべき姿や方向性を強く印象付けました。セコムは、社会の動向を先取りする対応力、これから求められるシステム・商品を実現できる技術力を結集して、先進性を備えた信頼性の高い新システム・商品をタイムリーに市場へ投入し、一層の普及に取り組んでいきます。

また、国内セキュリティサービス事業で培われたノウハウを生かし、経済成長が続く中国を中心に、海外セキュリティサービス事業のさらなる拡大を図り、成長を加速していきます。

そして、セコムが最も大切にしているのは、お客様からの信頼です。セコムグループの全社員は、“信頼される安心を、社会へ。”というコーポレートメッセージのもとに、お客様の信頼に応えるとともに、一丸となって「社業を通じて社会に貢献する」活動を積極的に展開することで、新たな成長軌道を歩んでいきます。

今後も、セコムの事業展開へのご理解とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2010年6月25日



飯田 亮  
創業者



木村 昌平  
取締役会長



原口 兼正  
取締役副会長



前田 修司  
代表取締役社長

飯田 亮

飯田 亮  
創業者

木村 昌平

木村 昌平  
取締役会長

原口 兼正

原口 兼正  
取締役副会長

前田 修司

前田 修司  
代表取締役社長